

# やさいレポート (令和5年8月号)



# にんじん



発行日：令和5年8月8日

## 1. 卸売価格の動向

○142 円/kg (8月5日)

➢ 平年比：106%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○395 円/kg (6月全国平均)

➢ 前月比：107%、平年比：103%

➢ 東京：191 円 (3本)

➢ 大阪：188 円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：7/20 (前月 6/20)

➢ 大阪：3/10 (前月 5/10)

(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○206g/人 (6月全国平均)

➢ 前月比：93%

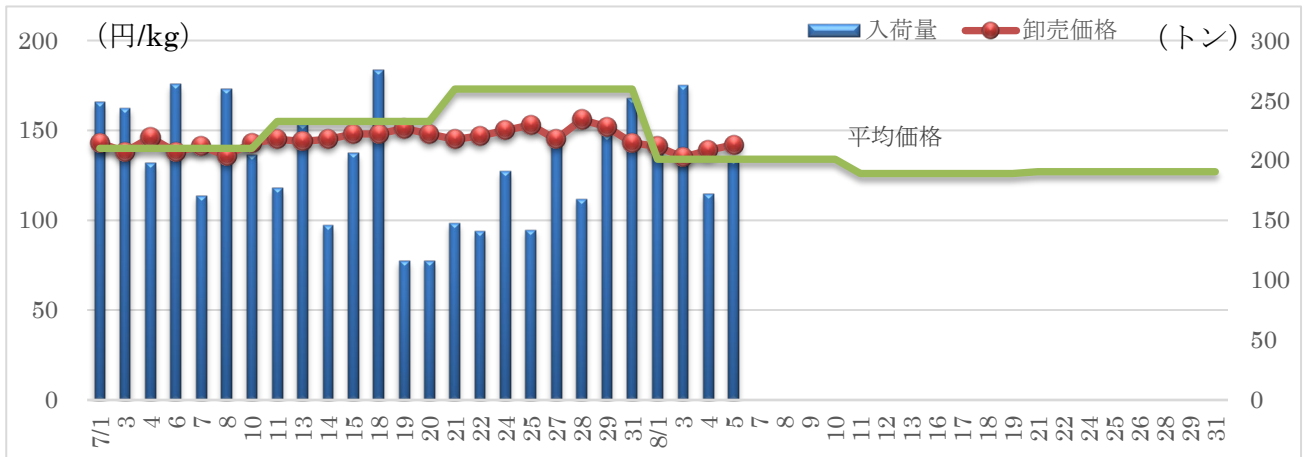
➢ 前年同月比：103%

○2,687g/人 (2022 年年間)

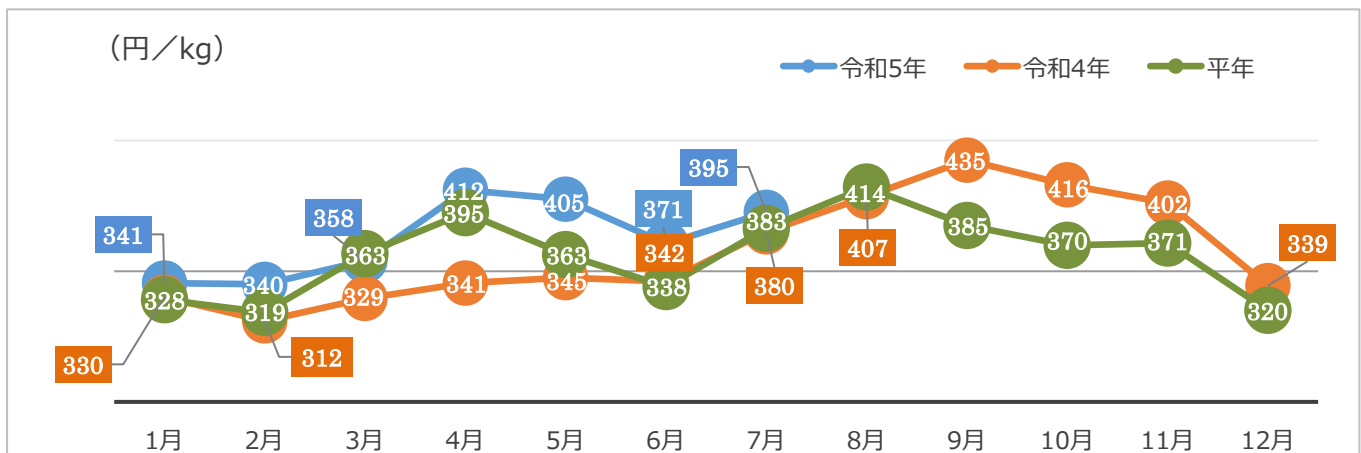
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

## 4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



## 5. にんじんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (7/12)	前年並み	平年並み	やや遅い	-
青森県おいらせ (7/14)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/15)	減少	平年並み	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/05~9/01)

週別の天候				
8/05~8/11	北日本では、天気は数日の周期で変わると見られます。 東日本日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いと見られます。 東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、台風第6号や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないと見られます。			
8/12~8/18	北日本では、天気は数日の周期で変わると見られます。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いと見られます。			
8/19~9/01	北日本では、天気は数日の周期で変わると見られます。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いと見られます。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並20 高 <b>70%</b> 高い見込み	少30 並30 多 <b>40%</b> ほぼ平年並の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多 <b>40%</b> ほぼ平年並の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高 <b>60%</b> 高い見込み	少 <b>40</b> 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多 <b>40%</b> ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多 <b>40%</b> ほぼ平年並の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高 <b>60%</b> 高い見込み	少30 並30 多 <b>40%</b> ほぼ平年並の見込み	少 <b>40</b> 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並 <b>40</b> 多 <b>40%</b> 平年並か多い見込み	少 <b>40</b> 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

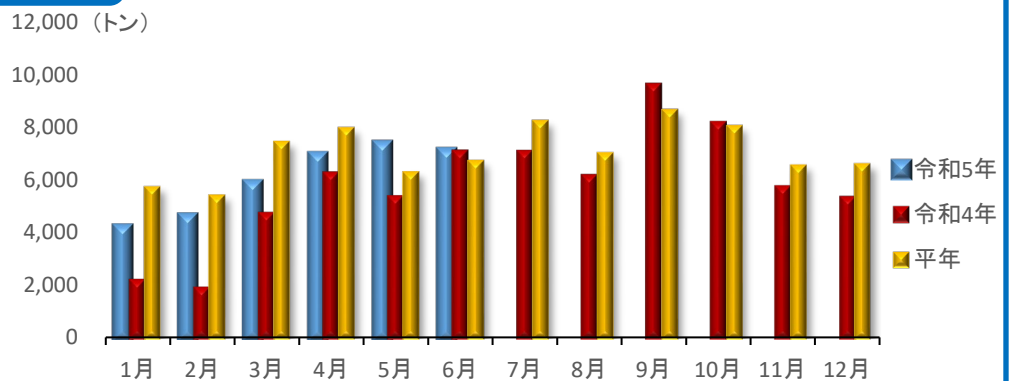
○ **7,123トン** (6月輸入量)

➢ 前年同月比: 100%

○ **輸入先国ベスト3**

- 1位 中国 7,029トン
- 2位 オーストラリア 86トン
- 3位 オランダ 4トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

7月は、千葉産、埼玉産などの入荷が終了した中、生育、肥大ともに順調な後続の青森産及び北海道産が需要を超える市場入荷量となったことから、価格は平年を下回りました。

8月は、青森産、北海道産などが安定した入荷量となることから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793